

交流推進委員会計画

委員長 佐藤 学
副委員長 小山 慶
幹事 平田 裕子

【基本方針】

「チャンスは平等、結果は不平等」。私たちはこの地域の中で、様々な人や団体との関わり合いを持ちながら運動を推進していく必要があります。「出会い」から始まり、共に運動し理解することにより「絆」が生まれます。お互いの絆がつながることにより、私たちの運動は大きな効果を得ることができます。すなわち私たちは、この「出会い」という平等に与えられているチャンスを活かし、つなげる想いを持って絆を作り、明るい豊かな社会の実現に向けた運動を推進しなければなりません。

出会いを促す重要な活動として「会員拡大」が挙げられます。例年課題とされている会員の減少に際し、私たちの運動の規模、成果をより大きくするために、この地域で共に運動を推進できる新たな同志を求めて、LOM全体で結束し、積極的な会員拡大運動を実施します。そして、月に一度全メンバーが集う例会セレモニーは、メンバーの絆を生むための原点と位置づけ、各委員会と密に接することで連携を深めて、LOMの運動の方向性を確認し合える場にし、一人ひとりが一度は発言することにより、学びを得るような場にします。また、年初に記した志高い目標を毎月掲げることにより、その目標を一年間つなげていく気持ちをもつ場とします。さらに、脈々と受け継がれてきた第6エリアは、しっかりと継承した交流を行い、RINX-4では主管として、連携がより一層深まるような設えをします。近隣やより広域的な多くの志を同じくするメンバーたちとの出会いの場も積極的に活かし、友情を育むチャンスを作り出して参ります。一方で、様々な運動に取り組んでいる私たちの姿を、少しでも多くの地域の方々へ知って頂き、ご賛同、ご参画頂ける環境づくりを推進します。

様々な交流を積極的に推進し、「出会い」から始まるチャンスを大事にし、「つなげる想い」を持ち、その想いは「つながる力」となって様々な広がりを見せ、その広がりを結束させることにより、大きな力となって周囲に質の良いスパイラルが起きると確信しております。その大きな力をもって、「真に豊かなまち上越」の実現に向かって進んで参ります。

委員会職務分掌＜事業内容＞

1. 会員拡大の推進運動の実施
2. 1・8・12月担当例会の開催
3. 例会セレモニーの設営・開催
4. 第6エリア交流会の開催
5. RINX-4の主管
6. 姉妹JC「沙鹿国際青年商會（台湾）」との交流